

声楽	2年次以上	2単位	選択履修
使用教科書 『MOUSA 1』（教育芸術社）	副教材等	高校生の歌集	つどい

1. 学習目標

個々の演奏技術の向上を図る。また、鑑賞活動を通して個性豊かな表現能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てる。

2. 指導の重点

生涯学習の基本となる力を養うために、独唱・合唱に必要な知識・表現方法の習得を目指す。

3. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
表現活動に関心を持ち、曲想に適した発声を学ぶ。基本的な視唱力を身につけ、演奏することができる。	音楽の構成要素を知覚し、表現活動に生かしている。	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に演奏活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は、次の3観点から行う			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	曲種による歌唱表現の特徴について理解している。伴奏や他声部との調和を意識して演奏する技能を身につけ表現している。 音楽の多様性について理解している。	音楽の構成要素を知覚し、その特徴や曲想との関わりを感受し、歌唱表現を創意工夫している。	学習に取り組む準備ができている。 技能向上を目指し、課題に取り組んでいる。
授業中の活動内容の観察、音楽表現実技テスト、ワークシート等提出内容の確認・分析などから評価します			

5 学習計画

月	単元名	学習活動	時間	評価の観点	評価方法
4 5 6	声楽の基礎	言葉の発音、姿勢や呼吸をはじめとした身体の使い方などを、繰り返しトレーニングし、曲にふさわしい発声を学ぶ。日本語の曲を中心に、個々のもつ声域にあわせながら、幅広いジャンルの曲を歌う。	20	a c	観察・聴取 ワークシート(分析)
7 9	アンサンブルの基礎	ハーモニーの基礎を学び、3度・5度の調和を身につける。声域の幅を広げ、上声部・下声部の役割を交互に担いながら、音の重なりを理解する。音楽の構造を理解しながら、伴奏や他声部との調和を意識して演奏する。アインザッツなど奏者同士のコミュニケーションを工夫する。	15	a b c	
	前期実技試験	<独唱> 日本歌曲、J-POP各1曲 <重唱> 二声の曲		a b c	演奏
10 11 12	演奏表現の伸長	発音の特徴を意識しながら、外国語の曲を歌う。オペラ、ミュージカルを鑑賞し、舞台芸術や各々の曲にふさわしい表現を理解する。自分の声域や曲想から自由に曲を選択し、演奏表現を高める。中間発表で相互評価を行う。	20	a b c	観察・聴取 ワークシート(分析)
12 1 2	演奏表現の探究	相互評価や録音の分析を生かし、表現の工夫を図る。曲の文化的・歴史的背景を理解しながら、歌唱表現を工夫する。選択人数に応じた声部の合唱（重唱）曲を、他者との調和を意識して歌う。	15	a b c	
	後期実技試験	<独唱> 諸外国の歌1曲 <合唱> 選択者人数に応じて決定する。		a b c	演奏

計70時間（50分授業）

6 課題・提出物等

授業の進め方、課題・提出物など
歌唱集を中心に多くの楽曲を歌います。課題、ワークシートは丁寧に取り組み、必ず提出すること。

7 担当者からの一言

歌う授業です。発声トレーニングも行います。楽しみながら、自信をもって歌うことが目標です。

